

## 【(1) 学習のルール】

### ③ 「忘れ物をしたときの対処の仕方を決めている」

#### 《つまずきの背景》

C 記憶力の弱さ、J 言語表現の困難さ、Q 状況理解の困難さ、R 会話のスキルの獲得の困難さ

#### 《解説》

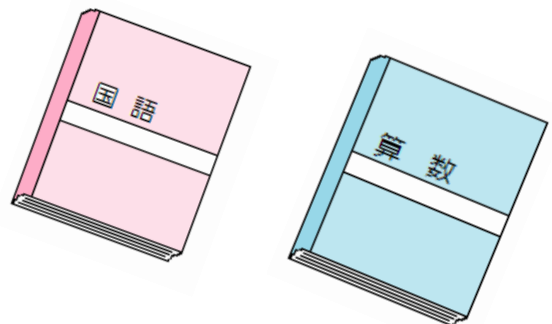
忘れ物をなくすための取組に加えて、「忘れ物をしたときは、授業が始まるまでに申し出る」というルールを学級で決めておきます。教師は、学習用具を複数人数分用意しておき、貸し出しができるようにしておく、授業が始まってから学習用具がそろっていないために、子どもが困ったり、教師が注意したりすることが減ります。

学級の中には、気を付けていても忘れ物が多かったり、授業が始まってから学習道具がないことに気づき、教師に申し出る子どもがいる場合があります。その際、注意をするなど個別に対応しなければならないために、授業のスタートが遅れたり、授業に参加しにくかったりすることがあります。ルールを明確にしておくことでそのようなことが減ります。また、困ったときには、事前に伝えるというソーシャルスキルを身に付けることにもつながります。

計画帳に持参物を書かせ、隣同士やグループで確認させることにより、忘れ物が減るようになります。また、授業が始まる前に、必要な学習道具について確認すると、事前に忘れ物に気づき、伝えに来ることができるようになります。

#### 【工夫点】

- ・計画黑板に持参物を明記して確認させる。(小中)
- ・学習道具を複数人数分用意し、貸し出しできるようにしておく。(小中)



朝の会で、今日の授業に必要な学習道具について全員で確認したり、授業の終わった後に次の授業の準備をさせてから休み時間に入らせたりします。事前に忘れ物に気が付いて、伝えに来ることができるようになります。